

「組合員の笑顔」が広がる「協同」の素晴らしさを伝える広報誌

晴ればね

hare bare

2022

2

vol.22

晴れびと!

スイートピー農家に転身

先輩を追って切磋琢磨

特集

うまいごはんは元気の源「もう一杯おかわり!」

～「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール～





表紙を空から望む

倉敷市船穂町

ふなお

果樹・花きの名産地 丘陵地にハウスきらめく

晴ればれ 2月号
2022 vol.22

Contents

2 | ソラサンぽ

倉敷市船穂町

4 | 晴ればれ特産品

「スイートピー」

船穂町花き部会

5 | 晴れびと！

船穂町花き部会

目黒 裕樹さん 優季さん

6 | 特集

うまいごはんは元気の源

「もう一杯おかわり！」

「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール

10 | 直売所名物を食べよう

推し名物まつり！

第10回「Aコープあしん店」新見市

12 | 家庭菜園

ブドウ

14 | 晴ればれTOPICS

・エンタیفが特別メニューに

・大臣賞の「なきじい」PR

・地域貢献活動の紹介

ほか

18 | 農業にエール地域を元気に！

未来を拓く協同組合／あぜみち川柳

20 | JAからのお知らせ／フレッシュ通信

いちばなし／くらしのお得情報

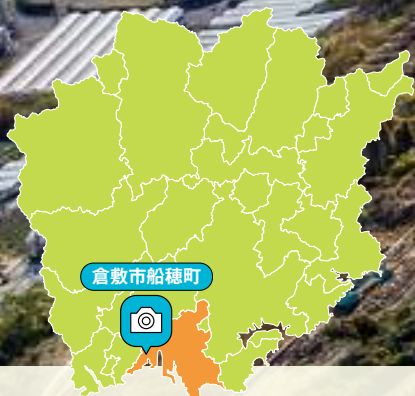
役員の部屋

22 | みんなのひろば／クロスワードパズル

読者プレゼント

24 | スイートピーフラワーアレンジメント

畑かん給水塔からの眺め。
ブドウやスイートピーのハウ
スが混在する丘陵地から瀬
戸内海まで一望できる



倉

敷市船穂町は、市内を南北に流れる高梁川の西岸に位置し、北部は小高い丘陵地、南部には平地が広がります。朝から夕方まで1日中日の当たる南向きの斜面や水はけのよい土壌が果樹・花きの栽培に適しています。高梁川からくみ上げるかん水設備（畑かんがい整備／畑かん）や都市近郊の利便性にも恵まれ、農業で生計が立てられる環境が整います。

特にブドウ「マスカット・オブ・アレキサンドリア」とスイートピーは、全国有数の産地として知られています。山陽自動車道玉島インター付近では、数多くビニルハウスが立ち並び、シンボルとしてマスカットがデザインされた畑かんの給水塔を望むことができます。

また、同町水江地区には、江戸時代の初めに造られた、閘門式水門「^{ごもん}の口水門」が遺り、同市の文化財に指定されています。長きにわたり運河として水運に活用され、玉島港までの約10^{キロ}のルートは「高瀬通し」と呼ばれ、20世紀初め頃まで高瀬舟が盛んに物資を運んでいました。

2018年7月の西日本豪雨を受け、小田川と高梁川の合流点の付け替え事業が行われ、河川整備による新たな農地でブドウやスイートピー、金時ニンジン・ダイコンなどの栽培が始まっています。



染色花などが近年注目を集める「船穂スイートピー」

晴ればれ
特産品

今月の特産品
スイートピー

船

穂町花き部会が栽培する特産のスイートピーが出荷最盛期を迎えています。今季は11月上旬から4月中旬まで76品種1000万本を、東京・大阪市場など全国へ出荷し、3億円の販売を見込みます。

1月27日を「いっふなお」のロゴ合わせで「船穂スイートピー記念日」として定め、JRR倉敷駅でアレンジメントを展示するなど多彩なPR活動を展開し、認知度向上に力を入れています。同部会は、きめ細やかな栽培

管理と延命剤による前処理の徹底で花持ちをよくするとともに、選花選別の徹底や、長期間にわたる高品質・安定供給にも努め、市場から高い評価を受けています。さらなる品質アップに向け、高温や

曇雨天への対策を講じ、ヒートポンプなどによる夜間冷暖房や電照設備に加え、環境モニタリング装置の活用にも挑戦しています。

今年度は、産地ブランド育成事業の一環で輸出も想定して出荷箱を刷新。ローマ字表記を添えたロゴと華やかなイラストに加え、側面には倉敷市特産のデニム色を背景に、白文字でロゴを配しました。トラックへの積載時など、あらゆる場面でブランド名を印象付ける狙いです。

マーケットイン(買い手が必要としているものを作る)ことにも目を向け、近年アレンジやSNS映えを意識して人気が高まっている染色花(人工的に色を染める花)を部会員の約半数が精力的に出荷。市場に求められる品種選定・品質設定に反映するためマーケティング調査を行い、他産地とのさらなる差別化も目指しています。

輸出や消費動向を見込み 76品種1,000万本を目指す

船穂町花き部会

(生産者16人・約4ヘクタール)

岡山西統括本部



晴れびと!

岡山西統括本部
船穂町花き部会

めぐろ

ゆうき

ゆき

目黒 裕樹さん(41)

優季さん(34)

スイートピー農家に転身 先輩を追って切磋琢磨

1日に7,000~8,000本をすべて手作業で摘み取ります

倉 敷市船穂町で、スイートピー産地の担い手として奮闘しているのが、就農5年目の目黒裕樹さん、優季さん夫妻。今季は23^ルア^イのハウスで7品種を栽培し、11月上旬から4月中旬まで48万本の出荷を目指しています。

就農前は12年間、不動産の仕事をしてきた裕樹さん。将来の選択肢として農業を視野に入れていたため、岡山県の産地見学会に参加。今も師匠と慕う船穂町花き部会の木下良^{りょういち}さんの栽培に対する熱意に背中を押され、「独立するなら、やはり農業」と新たな一歩を踏み出しました。同部会は新規就農者の受入体制も整い、部会や指導者がしっかりとサポートする受け皿があったことも大きな決め手でした。

スイートピーは9月に播種し、11月からの出荷を目指します。

1本が6^{トル}ほどに成長し、その間約26本の花を摘み取ります。伸びた茎は成長とともにピンチで止め、背丈ほどになると、1本ずつ横へずらす作業を繰り返します。特に好天が続くと開花のペースが速く、収穫と管理に追われ、休む暇もなく根気のいる作業が続きます。

「手をかけた分だけ、きちんと応えてくれる農業にやりがいを感じている」と力を込める裕樹さん。就農1年目には台風の影響で、収入が3分の1になるなど農業の厳しさに直面しましたが、妻の優季さんの協力と部会のサポートで乗り越えてきました。

今後は栽培技術の向上はもちろん、作業の効率化や労力軽減につながる取り組みも積極的に試し、スイートピーを手にした方に喜んでもらえる花づくりを目指します。



蝶のような可憐な花びらと、甘い香りが特徴のスイートピー

うまいごはんは元気の源

もう一杯 おかわり!

「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール



古来よりお米は、日本人の食卓には欠かせず、カラダを作る元気の源として食されています。JAグループでは毎年、稲作農業の多面的機能とお米・ごはん食の重要性を広く知ってもらおうと、お米・ごはん食に関する思い出やおいしかったこと、家族とのコミュニケーションを題材に、県内小中学生を対象とした『ごはん・お米とわたし』作文・図画コンクール（JA岡山中

央会、県内JA主催）を開いています。今年度は県下から作文2731点、図画1854点が寄せられ、当JA管内でも多くの児童・生徒が栄冠を手に入れました。12月18日には岡山市で表彰式を行いました。今月は特別賞に輝いた作品を掲載します。稲作農業やお米、ごはん食に対する子どもたちの純粋な想いに触れてみませんか。



「わたしの米とぎ」

岡山市立千種小学校 2年 柏陽奈子さん



- 好きなご飯のおかずのり・梅干し
- 今頑張っていることフィールドホッケー

かあさんが
「ひなちゃん、米おねがいできるー？」
わたしが
「いいよー、何ごう？」
と聞くと

「五合、おねがい」
と言います。カップで米をはかります。
わたしは、米をさわるのが大好きです。
米の中に手を入れると、とてもきもち
いいなあと思います。米の中には、かみ
さまがいると聞きました。こぼさない
ようにはかるけど、少しこぼしてしま
うこともあります。

米に水を入れると何つぶかの米がう
いてきます。ちよつと時間がたつと、う
いていた米がしずんでいます。米につい
ているほこりやごみをとるのに、そつと
水をこぼします。かあさんが教えてく
れました。米をあらうじゃなくて、米
をとぐというのも教えてくれました。

米をとぐとき、おいしくなあれ、あり
がとうと言いながらとぎます。何回か
米をといで、水をかえて、ぬかがなくな
たら水がきれいになります。それから
すいはんきにセットします。たきたての
ごはんをたべると、父さんもかあさんも
おにいちゃんもおねえちゃんもみんな
「たきたてのごはんは、やっぱりおいしいなあ」
と言って、いっぱい食べます。かあさんが、
「しあわせなことよー、かんしゃしない
とねー」
と言います。

わたしは、米をカップではかって、と
ぐのがとてもたのしいです。これからも
おいしいごはんになるように、米とぎを
がんばりたいです。



「いねかり」

総社市立山手小学校
けんもつ みなと
3年 劔持 湊さん



- 好きなご飯のおかず
唐揚げ
- 今頑張っていること
水泳



食農教育を通じて、学びを深める。(写真右上は表彰を受ける児童)



「我が家のお米作りとぼく」

倉敷市立老松小学校 6年 森山 尊央さん
もりやま たかう



- 好きなご飯のおかず
さんま
- 今頑張っていること
受験勉強

ぼくの家は江戸時代から続く農家で、小さい頃からぼくも週末になるとお手伝いしてきました。農家の血が遺伝したのか、ぼくはお米作りが大好きです。好きな理由は青々とした苗が黄金色の稲に変わる田んぼの風景がきれいなことと、農作業の時に大好きな伯父と伯母に会えることと、作ったお米がおいしいと皆に喜ばれるからです。でもすごく暑い中で作業をしたり虫が沢山いたり、土に足をとられてひっくり返ったりとても大変な仕事です。重労働過ぎて父も母もぼくも疲れて動けなくなる日もあります。そんな苦労があるからこそ、いよいよお米を収穫する稲刈りの時期になると「ああ頑張ってきたよやったなあ！」と思わず笑顔になるのです。

我が家のお米作りは父がリーダーで田植え機やコンバインに乗って大まかな作業をして母とぼくが下手間作業をするチーム体制です。下手間とは田植え機やコンバインが入れない場所に手作業で苗を植えたり稲を刈ったり、道具や材料を運んだり、皆の飲み物を持って来たり等たくさんやることです。

ぼくは江戸時代から続く農家で、小さい頃からぼくも週末になるとお手伝いしてきました。農家の血が遺伝したのか、ぼくはお米作りが大好きです。好きな理由は青々とした苗が黄金色の稲に変わる田んぼの風景がきれいなことと、農作業の時に大好きな伯父と伯母に会えることと、作ったお米がおいしいと皆に喜ばれるからです。でもすごく暑い中で作業をしたり虫が沢山いたり、土に足をとられてひっくり返ったりとても大変な仕事です。重労働過ぎて父も母もぼくも疲れて動けなくなる日もあります。そんな苦労があるからこそ、いよいよお米を収穫する稲刈りの時期になると「ああ頑張ってきたよやったなあ！」と思わず笑顔になるのです。



30年以上続くバケツ稲づくり。地元児童がJA担当者から稲作について学ぶ



©よい食P



「楽しかったいねかり」

岡山市立江西小学校

4年 香川 楓花さん

●好きなご飯のおかず
魚

●今頑張っていること
陸上



られると嬉しくてまた頑張るぞという気持ちになります。

ぼくは来年中学生です。小さい頃は田んぼの片すみに座っているだけでしたが、いろんな下手間を経験して最近ではわりと戦力になってきたと思います。来年はもっと頑張つて父や伯父に楽をさせてあげたいです。

でも、道路の拡張などをする区画整理であと三年くらいしかお米作りが出来ないそうです。周囲の農家さんは



「お米作り」

真庭市立川上小学校

4年 早川 登眸さん



●好きなご飯のおかず
納豆

●今頑張っていること
サッカー

ほとくの家では、六月五日に、蒜山に引っこしてきて、初めて田植えをしました。

家の米は、昔の品種の亀の尾というせが高いお米を育てています。種をまく、苗代作りで、とんぼをかけて、平らにするのを手伝いました。米の苗箱をおく苗代をなぜ平らにしなければいけないのは、苗箱が水につからなかったり、つかりすぎたりしたら、かれたり、成長しすぎるから、平らにします。苗代ができて、水をはったいろいろな虫が

高齢化がすすみ区画整理を機にお米作りをやめてしまう人が多いです。我が家の田んぼも住宅地になるそうでさみしいです。しかし皆のために住みやすい街に変わってくれるなら仕方ないのかなと思っています。

ほとくの田んぼはなくなってしまうけれど、お米作りが大好きなことは変わりません。ぼくはいつかどこかで父や伯父のようにまたお米作りをするのが夢です。

よつてきました。アメンボ、カエル、オタマジャクシなどがきました。

次は、種を苗箱に入れます。種を入れた、苗箱を苗代にならべます。苗の葉が五まいになったら田植えをします。苗運びをしました。機かいで植えて、うまく植えられなかった所を手植えで植



米の消費拡大事業「ニコ・ニコおむすび大作戦」で米の魅力を地元児童に伝える女性部



「うみでおいぎり」

浅口市立六条院小学校

1年 森本 菜々さん

- 好きなご飯のおかずのり・納豆
- 今頑張っていること縄跳び



えました。田んぼは、ふかい場所では足をとられたり、こしにまいていたかごに苗を入れすぎて、重くて、(もうむり)と思いました。お父さんとお母さんは、真つ暗になつてもやつていてすごいなと思います。

田植えの後は、じよ草をします。家の田んぼは、じよ草ざいを使わないので手で草をとらなければなりません。草が生えると、いねが育たなくなつてしまふので、じよ草をします。ぼくは、田んぼの中を歩くのが大変なので、サーフボードに乗つて、じよ草しました。

4時間くらい田んぼで、ヒエをとりました。

もうひとつの田んぼは、手で、おす、田車や、チェーンをぼうにつけて、じよ草するチェーンじよ草などをしました。重くて体力がなくなりました。いねが育つまで一カ月くらいじよ草するので大変でした。一番大事だから、がんばりました。毎日今は、お父さんが水のちようせいをしたりして、お米になるつづができてきました。

どんどん成長してぼくのむねぐらいの高さになってきました。後一カ月したら、いねかりになつて新米が食べれるようになります。

ぼくの家のお米は、む農薬だから、

げんまいごはんでは、食べれます。げんまいごはんは、まわりのぬかの部分がまだついている、ごはんです。じよ草ざいや農薬を使っているお米は、まわりのぬかの部分に農薬がのこっているかもしれないから、げんまいごはんでは、食べないほうがいそつです。

それと、ぼくの家では、ぬかを、ぬかどこに使つたりもしています。

む農薬のお米は、手間がかかる分おいしいです。家族で作つたお米を食べるのが楽しみです。

作文部門／優秀賞

- 新見市立野馳小学校 1年 藤村 海史さん
- 倉敷市立倉敷南小学校 3年 平松 歩純さん
- 倉敷市立菅生小学校 3年 中村 圭才さん
- 真庭市立勝山小学校 3年 辻 敬十朗さん
- 倉敷市立長尾小学校 5年 川越 咲緒さん
- 総社市立総社小学校 5年 秋山 紗弥花さん
- 新見市立思誠小学校 6年 小川 龍聖さん
- 倉敷市立西中学校 3年 荒木 美紅さん

図画部門／優秀賞

- 浅口市立金光小学校 2年 山路 直さん
- 倉敷市立万寿小学校 2年 社 奈緒さん
- 倉敷市立富田小学校 4年 松本 奈々花さん
- 新見市立新砥小学校 5年 土屋 志歩さん
- 備前市立伊部小学校 5年 好本 早絵さん
- 新見市立思誠小学校 6年 酒井 咲穂さん

解凍して切って並べて
さあ、極上の味をおうちごはんで。

千屋牛[®] ローストビーフ

なめらかに
広がる濃い旨味。
これぞ新見が誇る
ブランド牛！



お土産にも
喜ばれますよ。
私の孫も大好物!!

新見市和牛改良組合 組合長
江田 英明さん
えだ ひであき



ちよつと贅沢したい日に
食卓を彩るお洒落な肉料理。

「昔、このあたりの農家はみんな牛を飼っていました。元々は農耕用として暮らしを支えてきたんです」と話すのは、「千屋牛」の生産を繁殖農家として支える江田英明さん。冷涼で自然あふれる新見市は牛の飼育に適し、昔から牛の生産が盛んだったところ。しかし今や繁殖に携わる農家は61人。飼育頭数が限られるために岡山県以外でありお目にかかれませんが、ほどよい霜降りと赤身の風味はどのブランド和牛にも勝ると言います。

その希少な「千屋牛」の取扱店として認定された第1号店がAコープあしん店にあり、専用コーナーでは部位ごとの量り売りにも対応。担当スタッフの池上武宏さんは「おいしいローストビーフを自宅で」と、この商品開発にも関わった一人です。赤身をローストビーフにすることでやわらかく、そして「千屋牛」ならではの濃い肉の旨味を存分に味わえる逸品。よりおいしく食べるには「冷蔵庫でゆっくり解凍するのがコツ」なのだそう。ギフト用のセット（ゆずポン酢付き300〜350g 6000円）もあります。



日本で最古の蔓牛（優良な系統牛）の血統を受け継ぐ「千屋牛」。県内生まれの牛を18カ月以上、新見市で肥育する



牛を丸ごと1頭仕入れ、さまざまな部位を安価で提供。第2・4金曜日は「千屋牛」の特売日



ブラッシングで毛と皮を整えることで肉質をアップ

推し名物

直売所名物を食べよう 第10回

新見市高尾
直売所「Aコープあしん店」

推し名物を
応援しよう！

毎号さまざまな直売所から自慢の名物がエンタリー。
登場の逸品に応援メッセージを送るとプレゼントが当たるチャンスも!!

*メッセージはWEB上でご紹介することがあります。

あなたが
選ぶ!

まつり

「Aコープあしん店」編

「Aコープあしん店」や
「千屋牛ローストビーフ」への
応援メッセージを送って
いただいた方の中から
抽選で2人の方に
「千屋牛ローストビーフ」
プレゼント!!
応募はコチラから!



ハガキ・FAX・応募フォーム
からご応募いただけます。

※ハガキ・FAXの場合、郵便番号、
住所、氏名、年齢、応援メッセージ
及び「推し名物まつり応募」とご記
入の上、P.23のクロスワードパズ
ルと同じ宛先へご応募ください。

「千屋牛」のすばらしさを
お話しします。

くらしき作陽大学 食文化化学部
現代食文化学科 教授
なか かつみ

仲 克己さん

岡山県新見市の
名牛「千屋牛」。



「千屋牛」と聞けば「肉質のよさ」と「おいしさ」そして「有名牛」を思い浮かべます。ヒレ・モモ・ハラミ・スネなどの通常赤身と言われている部位は柔らかさも適度で、きめ細かな霜降りを兼ね備え、和牛本来の味を十分持ち合わせているのがこの和牛肉の特徴です。

極上の「千屋牛」のため料理は種々ありますが、肉をフライパンで焼いたローストビーフも代表的な料理のひとつです。「千屋牛」を使ったこのメニューを提供しているお店は新見市のみならず県内各地にあり、食べると「うっとりするおいしさ」「何とも言えない幸せな気分」を堪能できます。

ローストビーフの焼きおにぎり

●カロリー:400kcal ●食塩相当量:1.0g

【材料(2人分)】

■焼きおにぎり

- ごはん 300g
- ごま油 小1 1/2
- 赤みそ 小1 1/3
- 日本酒 小2
- ローストビーフ 80g
- レタス 80g
- 赤パプリカ 10g

■レモン入りヨーグルトソース

- ヨーグルト 大2
- マヨネーズ 大1
- レモン果汁 小1/2
- すりおろしニンニク 少々(1g)
- 黒コショウ 少々
- わさび入りバター・しょうゆソース
- わさび 小1
- バター 大1強
- 日本酒 大2
- 濃口しょうゆ 大1



【つくりかた】

■焼きおにぎり

- 1.ごはんを三角おにぎりを4個作る。
- 2.Aを混ぜ合わせておく。
- 3.①の両面にごま油を塗り、グリルで2分焼く。
- 4.③に②を塗り、焼き色がつくまで焼く。
- 5.レタスは葉が破れないように洗い、茹でて水分を拭き取っておく。
- 6.④をレタスで包みローストビーフと赤パプリカをのせて、それぞれのソースをかける。

■レモン入りヨーグルトソース

- 1.材料をすべて混ぜ合わせる。

■わさび入りバター・しょうゆソース

- 1.わさび・日本酒・濃口しょうゆを混ぜ合わせる。
- 2.フライパンでバターを加熱し、溶かす。
- 3.②に①を入れ、煮立たせる。

2種のソースでローストビーフを堪能!

名物を使ったイチオシレシピ!

くらしき作陽大学 食文化化学部 現代食文化学科
大塚 麻由さん 考案



岡山県新見市高尾2423 ☎0867-72-2424
営業10:00~19:30 (休)毎週火曜日(変更になる月もあります)

惣菜コーナーで人気の「千屋牛」コロッケ。
冷凍商品も!!



Aコープあしん店は、日常の買い物の場として地域の生活を支える店舗。その上で、この地で生まれた生産物を市外・県外に発信する役割も。生産者が直接持ち込む野菜や加工品が並ぶ「新鮮市場」では地域の味を、また「千屋牛」の取扱店として、ほかでは手に入りにくい部位が並ぶなど、魅力的なラインナップが自慢です。毎週水曜日には朝市が開かれ、1本売りされる魚は店内調理場でさばいてもらえます。



登録1号の「千屋牛」取扱店



野菜のほか、ジビエ加工品などさまざまな新見エリアの特産が集まる「新鮮市場」



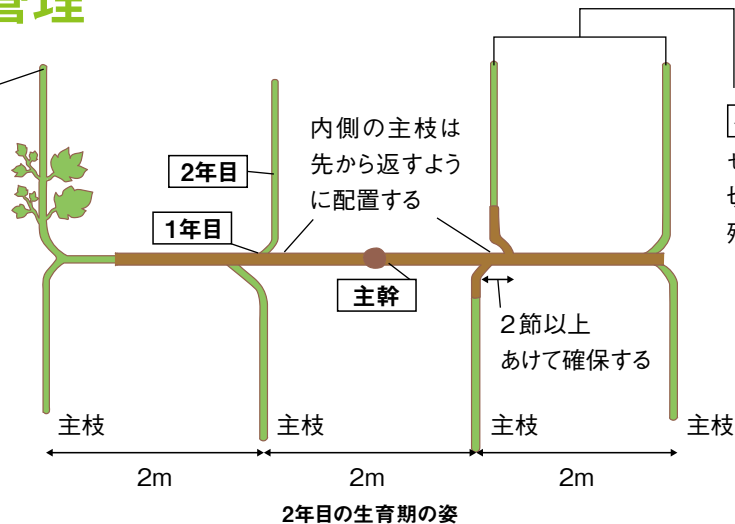
いけがみたけひろ やまもとたかひろ やまもとひでとし
左から池上武宏さん・山本卓寛さん・山本英利店長・
にしむらこうすけ みやばらともこ
西村浩介さん・宮原智子さん



●スマホアプリ「JA旬みっけ」で旬の食材やお得な情報を配信中! お得なキャンペーン情報も!!

③ 2年目の管理

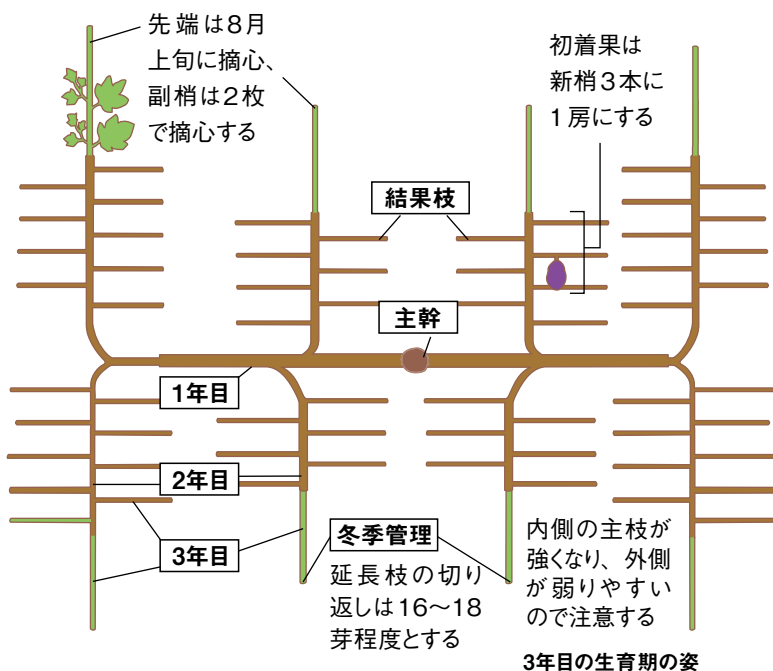
先端は8月上旬に摘心して、先端部分を棚下へ下げ、再度伸びる副梢は2枚で摘心する



冬季管理

せん定での延長枝の切り返しは16~18芽残して切る

④ 3年目の管理



サンからのアドバイス

初めて出た新梢に結実させる場合は、新梢3本に1房程度の割合の着果量とするよ。結実させるのは勢力の強い枝に限ろう!! 冬期せん定で延長枝は16~18芽程度を残してせん定してね。



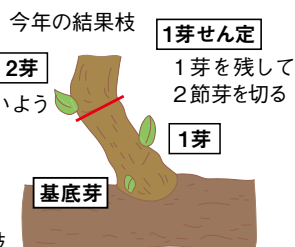
ホッチキスをはずして保存できます

主な管理作業

① せん定

原則1芽せん定とする。

残さないように注意



③ 摘心

新梢・副梢の先端を摘む作業。

④ 摘穂

1新梢1花穂にする。

⑤ 整形

目標とする房の大きさにする。

② 誘引

枝を日当たりがよくなるように誘引する。

誘引の様子



「ピオーネ」の花穂



整形後の花穂

ご相談は営農部まで...

地域によって栽培できる品種や栽培時期などが異なる場合があります。詳しくは本店営農部(086-476-1837)までお問合せください。直売所の出荷者も募集しています!

作って食べて
農業を元気に!

家庭菜園

ブドウ

岡山県を代表する果樹

「ピオーネ」や「オーロラブラック」「シャインマスカット」など黒系・青系、大粒・種なしなどさまざまな品種があります。品種によって栽培管理の方法や作業時期が異なりますが、植え付けや枝管理は基本的に同じです。木を植え付けてから4～5年で本格的に収穫期を迎えます。



教えてくれるのは/
この人!!

新見広域営農経済センター
ひろしげ まさみ
廣重 真実



栽培スケジュール

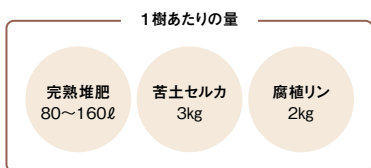
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
植え付け		春植え ●	●							秋植え ●	●	
枝の管理		せん定			誘引	摘心						
花(果実)の管理					摘穂・整形	袋掛け						
収穫								収穫				
土作り・施肥									礼肥・基肥・土作り			

栽培適地

- ・地下水位が低く(地下水位40～50cm以下)排水良好な壤土が適する
- ・好適土壌酸度(pH)6.5前後
- ・平坦地または緩傾斜で、生育期間中の日照時間が長いことが望ましい
- ・強風、晩霜、積雪の少ない地域が望ましい
- ・棚とかん水施設が必要

① ほ場の準備・苗木の植え付け

植え付け1ヵ月前までに資材を入れて盛り土にする。3月中旬～4月上旬に8m間隔で植え付ける。

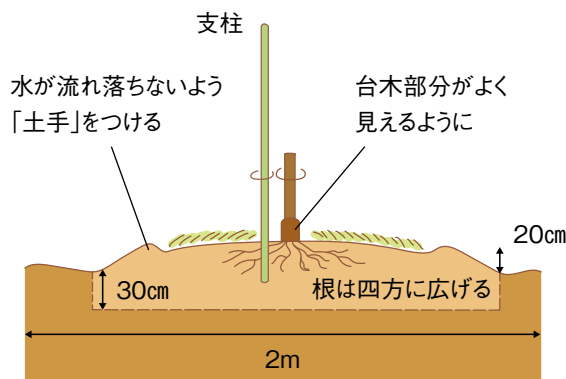


チェック!



ソラからのアドバイス

植え付け後は乾燥に注意し、土壌が乾き過ぎないように十分にかん水を行い、敷ワラなどで乾燥を防ごう!



苗木は3～5芽残して切り返す

ホッチキスをはずして保存できます

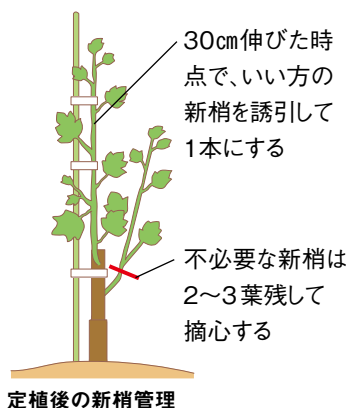
② 1年目の管理

しんしょう

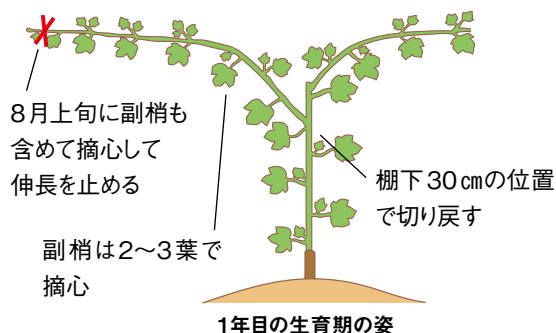
新梢…前年に形成された芽から発芽してきた枝

ふくしょう

副梢…新梢から出てくる、わき芽



定植後の新梢管理



1年目の生育期の姿

おすすめ品種

●ピオーネ

岡山県を代表する品種。大粒・種なし・甘さの三拍子そろった高級ブドウ



●シャインマスカット

老若男女から不動の人気を集める。糖度18度以上で皮ごと食べられる



●オーロラブラック

岡山県オリジナル品種。脱粒しにくく輸送に優れている





エンダイブが特別メニューに 県内で消費拡大を

エンダイブの特別メニュー
をPRする藤原副部長
長（左）と坪井社長



山陽エンダイブ部会は、コロナ禍で業務需要が落ち込む中、首都圏に偏った出荷から方向転換し、地元での消費拡大と販売強化を始めた。

用途が業務筋に限られるため、ほかの業務野菜と比べ、昨年産はコロナ禍以前の4割以上大きく下落し、農家所得に大きな打撃を与えました。部会は生産抑制・市場へ販売奨励など対策を講じましたが、地元出荷に目を向けることが市況暴落を回避し、価格の底支えに重要と判断。地元出荷に舵を切ることで、輸送費も圧縮できる上、積み上げてきた栽培技術・出荷ノウハウを最大限に生かして高品質な状態で消費者に届けられることができます。

12月下旬には1日15食限定で、みのるダ

イニングさんすて岡山（JR岡山駅）で、エンダイブをふんだんに使った特別メニューを提供しました。

同時に、管理栄養士を目指す中国学園大学（岡山市）の学生の協力で、家庭で気軽に食べられるレシピも考案。注文した人には、エンダイブ1玉と学生考案の6品を掲載したレシピ集を添えました。

試食会に参加した岡山丸果の坪井克己社長は「産地がPRすることで地元市場での引き合いを強め、販売もスムーズになる」と期待します。同部会の藤原悦夫副部長は「定食なので気軽に食べてもらえ、地元の人に知ってもらえる絶好のチャンス。県内での消費拡大の機運を高め、産地を盛り上げたい」と力を込めます。

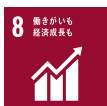


地域の情報をお届け!

晴ればれ TOPICS



JAはSDGsの達成に向けて取り組んでいます



丑年を極上和牛で締め 大臣賞の「なぎビーフ®」PR

JAは、「第60回岡山県枝肉共進会」で農林水産大臣賞に輝いた「なぎビーフ®」を12月下旬、山手直売所で販売しました。枝肉を1頭丸ごと買い取り、丑年の年の瀬に高品質で極上の県産和牛を家庭で味わってもらおうとPR。長引くコロナ禍での外食自粛や、家畜の餌・原油価格の高騰などで厳しい経営を強いられている畜産農家の所得向上を後押しします。

買い求めた人は、「少し高価だが、減多に味わえない受賞和牛は、食味も最高で年末年始にピッタリ。家族で味わいたい」と笑顔を見せました。

営農担当の山本日吉司常務は「直販に力を注ぐことはJA本来の目的である地域農業の維持に直結する。コロナ禍で厳しい時代だからこそ協同の力を発揮し、農家を最前線で支えていく」と力を込めました。

「なぎビーフ®」を買い求める来店者



女性部活動の拠点 料理教室が完成



祝いの赤飯を準備する部員ら

倉敷かさや女性部矢掛地区の新たな活動拠点となるJA施設「きらりふれあい料理教室」が12月上旬、矢掛支店南側に完成しました。同地区部員が落成を祝い、ちらし寿司と赤飯を作り、職員に配りました。

念願だった料理教室の完成に同女性部の古城清子部長は、「地域の農産物を使った加工品の製造販売や、子どもたちの食農教育活動での活用を通じてJAのことをもっと知ってもらいたい」と意気込みました。

真庭市の久世白小豆生産組合が栽培する白小豆の脱穀作業が11月下旬、最盛期を迎えました。クリーム色が特徴の白小豆は、栽培が難しく生産量が少ないため希少性が高く、京都の和菓子屋から引き合いがあります。

同市久世地区では約50年前から稲の転作物として導入。今季の出荷は同組合で1.5トンを見込んでいます。



希少な白小豆 京都の和菓子に



脱穀を進める生産者の三村恵さん(63)



農林中央金庫の職員からお金の大切さを学ぶ児童



小学校でのお金の出前授業 総合事業で地域貢献

JAと農林中央金庫岡山支店は、県内の小学校で、次代を担う子どもへ金融の基礎を教える出前授業「お金のキホン」を始めました。全国のJAグループに先駆けた試みで、高学年の児童を対象に、お金の役割や上手な使い方、貯め方についての知識や考え方(金融リテラシー)を学んでもらい、将来的により豊かな生活を送れるように役立ててもらいます。

食農教育や農業体験に加え、金融経済教育へも取り組みを広げ、地

域に根差した総合事業を展開するJAの役割や存在意義を発揮します。

今年度は真庭市の小学校2校で実施。11月下旬に市立八束小学校で初めて授業し、6年生20人が学びました。児童は「お手伝いをしてお小遣いをもらっているからお金を大切にしている。貯金して両親にプレゼントを買いたい」と話しました。JA信用部は「自治体や教育機関などと協力し、総合JAならではの学びの場を県内に広げたい」と展望します。



和気の直売所で「JA直行便」 「銀沫®」など特産集まる

直売所「百菜市場和気店」は11月中旬、広域JAの強みをいかした「JA直行便」の一環で旬の特産を集めて販売しました。販売したのは、ヤマノイモ「銀沫®」「連島ごぼう」「連島れんこん」「千屋牛®」。JA職員が特産を使ったレシピを配布しながらPRし、来店者からは「テレビで見て気になっていた。これからも県内の特産品を置いてほしい」と好評でした。

同日は「秋の収穫感謝祭」も開き、女性部手づくりの黒豆おこわを販売するなど、多くの来店者でにぎわいました。

「銀沫®」を手にする来店者



「難しいけど、おもしろい!」 箸やしゃもじでお手玉遊び



箸やしゃもじを使ったお手玉遊びをする部員

部員は「普段使い慣れていない道具ばかりなのにゲームとなると難しかったが、久しぶりに仲間と話したり笑ったりできた」と話しました。

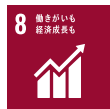
チームに分かれ、輪になって箸やフォーク、しゃもじなどを使い、お手玉を順番に回して時間を競うゲームを行いました。

部員は「普段使い慣れていない道具ばかりなのにゲームとなると難しかったが、久しぶりに仲間と話したり笑ったりできた」と話しました。

びほく女性部北房支部は12月上旬、真庭市でお手玉遊びを行い、部員ら32人がカラダを動かして、親睦を深めました。



ベテラン農家から調教技術を学ぶ新見高校の生徒



最優秀賞に中桐さんと坪本さん 岡山東シャインマスカット共進会



最優秀賞に輝いた中桐さん(左)と坪本さん

岡山東統括本部は12月下旬、令和3年度の岡山東シャインマスカット共進会の表彰式を開き、生産者15人を表彰しました。最優秀賞にハウスの部で中桐孝恵さん(赤磐市)、簡易被覆の部で坪本真一さん(赤磐市)が輝きました。

藤原弘道常務は「生産者・JAが一体となって地域の生産拡大とブランド力強化に努め、くだもの王国岡山をけん引していきたい」と話しました。

新たな
担い手の
育成

岡山和牛の後継者育つ 鹿児島全共へ調教伝授

新見市和牛改良組合は、今年10月に鹿児島県で開かれる第12回全国和牛能力共進会(鹿児島全共)に向け、調教の伝承・習得に力を注いでいます。飼養管理や審査の際の基本となる技術で、国内最古の和牛産地として160年以上、先人から培う伝統です。JAや県・市など関係機関と協力し、候補牛を育成するとともに、熟練の生産者が若手農家や高校生らを導いています。

同組合の江田英明組合長は「大会を目指して牛への愛着を深め、将来の後継者として育てほしい」と期待をかけます。



おいしさ格別 お手製コンニャク

津山女性部フレッシュミズ部会津山北は11月下旬、津山市でコンニャクづくりに挑戦しました。JA職員から作り方を学び、地元産の芋4kgから約60個のコンニャク玉ができました。練る・混ぜる・丸めるを繰り返し、手のひらで優しく包みながら形を整えました。



「食べるのが楽しみ」と話す参加者



色とりどりのパーツから
お気に入り材料を選ぶ部員

手づくりのお飾り よい年を迎えたい

女性部

勝英女性部奈義支部は12月上旬、奈義町で正月のお飾りづくり教室を開きました。

部員19人が正月用の飾りパーツのほか、造花やプリザーブドフラワーを、色とバランスを考えながら土台に固定し、リボンなども使い、華やかな作品に仕上げました。参加者は「色鮮やかなお飾りで、いつもと違う新年を迎えられる」と笑顔を見せました。

農業者の
所得増大

「太く長い」ジネンジョ 3月まで「かよう青空市」に



吉備中央町でジネンジョが旬を迎えています。生産するのは吉備高原自然薯研究会。同町の生産者23人が約80aで栽培し、進物用から家庭用まで、さまざまな大きさが揃います。

今季は11月上旬から収穫が始まり、3月まで直売所「かよう青空市」などで販売し、冬の味覚を消費者に届けます。

「太く長い良質なものが多くできた」
と上田栄一さん(82)



セロリを収穫する山邊さん



セロリ産地を担う 新たな後継者に期待

セロリの産地である総社市山手で、新たな後継者が育っています。山手セロリ・メロン生産組合に属する一般財団法人そうじゃ地食べ公社は今年度、新入社員を2人採用し、産地維持の一端を担います。その1人である山邊竣也さんは「先輩から学んで高品質なセロリを作っていきたい」と意欲を見せます。

同組合は、メロンの後作としてセロリを栽培し、12～4月末まで出荷。伝統ある産地を守っています。



「極上のブドウを消費者に届け、農家所得向上にもつなげていく」とPRするJA担当者

付加価値
の増大

冷蔵貯蔵ブドウを ギフト需要へ

びほくぶどう生産部会は12月中旬、特産ブドウの出荷がラストスパートを迎え、過去最高の販売金額達成に向けた最後の積み上げに力を入れました。

今季の冷蔵用ブドウは、適期に収穫した「オーロラブラック」と「シャインマスカット」を零度に保った冷蔵コンテナ2基に搬入。旬をぎゅっと閉じ込め、高品質なものだけを厳選して貯蔵し、クリスマスや歳暮の需要期を迎える12月初旬から、大阪と岡山市場へ出荷しました。



地域貢献活動の紹介

試験用トラクター寄贈 免許取得に役立てて

JAグループ岡山は11月下旬、岡山県運転免許センターへ中型トラクター1台を贈りました。トラクターは11月末から技能試験で使う車両として活用されています。

これまで県運転免許センターには試験用トラクターがなく、受験するためには自らがトラクターを持ち込む必要があり、免許取得の足かせになっていました。

JAでは、農業者の負担を軽減し、農作業事故のない安全安心な営農活動を支援しています。



寄贈したトラクターと目録を手渡す石我組合長(右)



久米南でユズ出荷最盛 加工品にも利用



県内最大の産地で最盛期を迎えたユズの出荷

久米南町で12月上旬、ユズの出荷が最盛期を迎えました。久米南選果場に1日約5tが持ち込まれ、スタッフが傷や形などを確認し、サイズごとに箱詰めします。69人が8.5haで栽培し、約60tを岡山や鳥取市場などに出荷しました。

ユズは青果のほか、皮や果汁を使った飲料水・ポン酢・ジャムなど加工品への利用が盛んで、直売所「サンサンくめなん」などで販売しています。



農業にエール 元気に!

授業、料理教室などで
となどを聞きました。

「楽しくおいしく食べて、
奈義町が全国に誇る
『なぎビーフ』を知ってほしい!!」



勝英肥育部部長の
くにとみ みきお
國富 美喜男さん

奈義町の特産を
味わい学ぶ

津山統括本部管
内は県内有数の
ブロッコリー産地。
寒さで甘味が増して
おいくなってるよ!



のやま はると
野山 悠斗さん

さいとう あん
齋藤 杏さん



みき こうしろう
三木 皓士郎さん

あこう みな
赤穂 未奈さん

早高キッズ
優勝おめでとう!

JA 杯子ども会
親睦球技大会
ソフトボール大会



地域の仲間とともに、
楽しく元気にプレイしたよ!



岡山東杯争奪
第8回赤磐カップ
(JA共済の地域貢献活動)

熊山パワーズ
優勝おめでとう!

顔くらい
大きいよ!

つやま青壮年部
西部支部
ブロッコリー収穫体験

監修=JCA(日本協同組合連携機構)

農業をなく協同組合JAと農業

日本人がお米を食べなくなっているのは本当?

お米は日本人の主食として欠かせない食
材ですが、国民1人の1年当たりの消費
量は約50年で半分以下まで減っています。
お米の消費量減少は、食の多様化によ
る主食の変化や朝食を抜くなどさまざま
な理由が考えられる一方で、「太りそう」
という誤解からもきています。

お米の糖質「でんぷん」は消化吸収の過
程で血糖値の上昇を緩やかにし、体脂肪
になりづらく、カロリーは脂質の半分程度
であることから「太りにくい」という特徴
があります。お米を炊くのが面倒という場
合は無洗米やパックご飯などを活用するの
も方法のひとつです。

当JAでは毎月15日を「Happy Rice
う米day」、JAグループ岡山としても昨
年、毎年10月第3土曜日を「おかやま米
の新生記念日」に制定し、消費拡大を促
すとともに農家応援につなげています。

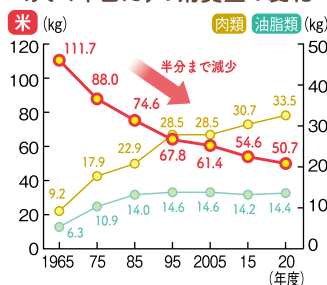
JA全農ではお米消費拡大ポータルサイ
トを設置し、お米のレシピを公開すると
ともに栄養や運動の専門家などと協力し、
おにぎりやウオーキングを合わせた「おに
ぎりダイエット」を提案しています。

国産米を食べて農家を
応援し、国産消費を
進めましょう。



お米消費拡大
ポータルサイト

米、肉類、油脂類の
1人・1年当たりの消費量の変化



出典：農林水産省「食料需給表」2020年度
注：1人・1年当たり供給純食料を記載

まん丸のおいしい
お餅ができたよ！

手のひらで
ころころ丸めて
できあがり！！

"農業"や"食"って
こんなにおもしろい！！

地域を

米づくり体験
(新見市)

種まきから田植え・稲刈り・脱穀など一年を通して米づくりを学び、餅つきもしました！

ばんどう ゆりな
伴藤 友莉奈さん

葉ボタンやビオラ、シクラメンなどで
心が温まります♪

JAの食農体験や出前
感じたこと、学んだこ

はしもと あつき
橋本 淳希さん



今年のサツマイモは
ビッグだよ！

やっぱりみんなでする
活動は楽しいなあ！

ジェイエイキャット
「JA-CATつやま店」
でクリスマスの寄せ植え
講習会に参加しました。

みたに きみこ まつした さつき まつおか ちずこ
神谷 君子さん 松下 五月さん 松岡 チズ子さん

寄せ植え
講習会

サツマイモ
収穫体験

あぐりにこここスクール(真庭市)

農家さんに教えてもらって
上手に掘れたよ！

早島幼稚園(早島町)

2022年2月10日(木)必着

締め切り

作品(楷書で漢字にふりがなを、ペンネーム、住所、氏名(ふりがな)、年齢を記載の上、投稿してください。ペンネーム・匿名希望の場合は本名を掲載します。本誌23ページ「みんなの広場」の応募方法をご確認の上、JA晴れの国岡山総務企画課「晴ればれ」係宛に送付してください。誌面の都合上、すべてを掲載できない場合がありますこと、ご了承ください。

投稿方法

日頃の農作業で感じる想い、家庭菜園や直売所の楽しみやエピソード、農の風景など

テーマ

野菜好き 顔に出てるよ 古米さん
杉山 ヤスコさん

稲株の 広がる田んぼや トンビ舞う
串馬 敬子さん

丹精を こめた野菜を サルが食う
高木 完二さん

同じ夢 友と見ている そばの花
本間 慶子さん

米つけぬ 田の畦草を 秋に刈る
近藤 誠さん

寒さ増し 甘さますます 大根は
田中 多恵さん

ひめの餅 おくってあげて よろこばれ
柴田 太久治さん

あぜみち川柳

天晴れ

安全第一



ついてはトラクターを利用し（安全フレームは倒さず使用、少しの運転であつてもシートベルト・ヘルメットの着用を徹底しましょう。

農作業事故が多発しています。なかでもトラクターの転落・転倒事故は農作業死亡事故の要因として最も高い割合を占めています。安全キャブやフレームが



トラクター事故が多発
シートベルト着用徹底を

【報告事項】経済委員会報告／不良債権処理対策委員会報告／令和3年度11月末事業実績／内部監査にかかる品質評価（外部評価）の結果／その他（年末手当の妥結／岡山東統括本部・備前支店事務所改修工事完了／津山統括本部・打穴西農業倉庫の売却結果／勝英統括本部・アスパラガス選果機更新結果／理事に対する貸付／役員の統括本部巡回）

【附議事項】第1号議案…岡山西統括本部・旧三須支店土地建物売却／第2号議案…文書取扱規程の一部変更／第3号議案…出資口数の減口（組合員の申し出による減口）

令和3年度12月期理事会を12月24日に開き、次の事項について審議し、承認されました。

理事会だより
規程の一部変更など

船穂町ぶどう部会を表彰
第51回日本農業賞の県代表

第51回日本農業賞集団組織の部の岡山県代表に当JAの船穂町ぶどう部会（倉敷市）が選ばれ、12月上旬に表彰式が行われました。同部会は、生産量日本一の「マスカット・オブ・アレキサンドリア」を中心に、98戸が年間約347トンのブドウを出荷。高度な技術の蓄積や革新普及・新規就農者の積極的な受け入れなどが高く評価されました。浅野三門部会長は「歴史ある産地を次世代にバトンタッチできるよう努力する」と話しました。



県代表に選抜された船穂町ぶどう部会

古いLPガス容器を回収
ガス漏れ・火災の恐れあり

長い間放置したLPガス容器の使用は大変危険です。ご不要な容器がありましたらお近くのJAガスセンターまたは、本店経済部農機車燃課（08644761838）へご連絡ください。JAが引き取り処分いたします。当JAでご購入い

ただいた容器に限ります。残ガスの買い取りはしません。

確定申告はスマホ・パソコンで
税務署からのお知らせ

新型コロナウイルス感染リスク軽減のため、ご自宅から申請できるe-Taxをぜひご利用ください。確定申告会場への入場には整理券が必要です。各会場当日配布、または事前に国税庁のLINE公式アカウントから取得できます。詳しくは下記コードから。



耕運・水路の泥上げで被害防止
冬場のジャンボタニシ対策を

水路や土中で越冬するジャンボタニシは、寒さに弱く水がないところでは生存できないので、土壌が乾燥する冬場に1〜2回耕運して寒風にさらしましょう。通常の荒起こし作業より車速を遅く、ロータリーの回転を速くして耕します。使用後のトラクターは未発生ほ場への卵の持ち込みを防ぐため、付着した泥を洗浄してください。水路の泥上げなど被害防止対策を組み合わせ、地域全体での防除が有効とされています。

【予告】Web農業簿記システム移行
確定申告の作成など機能充実

令和5年3月末をもって「らくらくWeb簿記システム」のサービス提供を終了します。令和5年6月からは、所得税・消費税の確定申告書の作成ができるなど、機能の充実した新たな「ソリマチWeb農業簿記システム」をご利用ください。利用の申し込み方法・料金などは改めてご案内します。

来店者に金融のお得情報を
窓口ボードの出来栄え競つ

「JAバンク岡山ボードPRコンテスト」で美咲町の旭支店、「JA共済ブラックボードコンテスト」で美作市の英北支店が最優秀賞に輝きました。ボードは各支店職員が来店者に信用・共済のおすすめポイントをわかりやすく紹介しようと作成。窓口などに置いて情報提供しています。

最優秀賞



英北支店



旭支店

12月17日

和牛子牛セリ市況

(JA全農おかやま総合家畜市場)

成績

(税込)

性別	頭数	最高価格	平均価格	平均体重
雌 全体	149	1,324,400円	668,091円	278kg
去勢 全体	181	1,014,200円	809,406円	300kg
合計 全体	330	1,324,400円	744,902円	290kg

※年末に向け枝肉相場が回復し、前月比5.9% (41,545円) 高

Market talk いちばなし



岡山県
岡山市
東京大田市場駐在
金澤 淳



日本人の果物消費量が少ないといわれて久しく、とりわけ20〜49歳（いわゆる現役世代）の半数以上は日常的に全く果物を食べないそうです注1。産地の将来にとって消費の有無は死活問題です。そんな現役世代に、果物の魅力を伝えることは案外簡単かもしれません。明治時代に果物専門店が東京で開業した「フルーツを使ったデザートが食べられる食堂（喫茶店）」が起源とされる（諸説あります）現代のフルーツパーラーは、コロナ禍でインバウンドがないとはいえ、若いお客さんで賑わっています。そこで主役を務めているのが岡山県産の果物です。各店

こだわりのスイーツで消費拡大 「くだもの王国」に期待

こだわりのスイーツには、市場出荷された高品質なものを贅沢に使用しています。2千円以上するモモやブドウを買わない世代でも、2千円以上するパフェは注文し、スマホで写真を撮り、情報を共有してくれます。夏はモモ、秋はブドウ、そして冬はイチゴと、「岡山」といえば果物のイメージがある県産地に対する関係者の並々ならぬ期待を感じています。

注1…厚生労働省の国民健康・栄養調査（2019）



昨年9月に銀座千足屋で提供された岡山県産ブドウを使ったパフェ

役員 の 部屋

YAKUIN NO HEYA

常務理事（総務・管理関係担当） 金光 章

8地区の協同の力を発揮 農を守りJAを守ります

もうすぐ合併から丸2年を迎えます。旧JAの垣根を越え、人・物・金・情報が集まり、それぞれが持つ強みを今まで以上に発揮することができるようになりました。

毎月発行する広報誌「晴ればれ」では、全ページを統一した内容で14万人を超える組合員へ配布し、情報の共有化を進めています。昨年12月からは地域を横断して支店長が参加する研修会を始めました。意見交換を通して103の支店・出張所が抱える課題を共有し、一体感を醸成していきます。

今後は、さらに人的交流を進め、一体感・連帯感・共有・広い視野で県全体の農業をよくしていかなければなりません。私たちが目指すものは、農業・組合員・JA・地域・役職員が元気になることです。事業を集約して管理コストを削減することも必要ですが、農業者の所得増大のため、施設の整備・強化にも力を入れるよう努めてまいります。



エンダイブ・黄ニラ・白ネギなど特産野菜を使ってお鍋はいかがですか。

フレッシュ通信

職員の紹介を通じて、
JAの事業・地域の特徴をご紹介します。

今年の春で入組して3年目を迎えます。現在は倉敷地区の出荷物の精算管理や直売所の運営補助、職員向け「営農生活通信」の発行を担当しています。普段は事務作業が多く、組合員の方と関わる機会が少ないですが、直売所のイベントの際には販売補助として接すること、さまざまなことを勉強させていただいています。これからもさらなる学びを重ね、頼りになる職員になるよう頑張っていきます。



倉敷かさや
広域営農経済センター
総合指導課

こまつ らんた
小松 蘭太



新生活に向けて資金のご入用は 急な資金 ございませんか？

そろそろ、進学や就職が決まり、新生活の準備を始める時期になってきました。

- ・進学先が決まり、学費などを準備しなければならない。
- ・車の免許を取得しなければならない。
- ・新生活のため、引っ越ししなければならない。

でも、資金が足りない…。そんな時は!! **JAネットローン**

JAネットローン3つのポイント

- Point 1 JAのローンだから身近で便利で安心!
- Point 2 ニーズに応える、豊富なラインナップ!
- Point 3 24時間インターネットで仮申込ができる!

ローン ラインナップ

マイカーローン：新車や中古車の購入はもちろん、免許取得費用にも!
教育ローン：入学金や授業料はもちろん、幅広い教育資金に使える!
リフォームローン：住宅の増改築・改装などのリフォームに使える!
多目的ローン：お使い道さえ決まっていればさまざまな用途に使える!
フリーローン：さまざまな用途に使える!
カードローン：借入枠の範囲で何度でも使える!

▶まずはコチラから **JAネットローン** 検索
<https://ja-netloan.jp/>



詳しくは、お近くの支店の渉外担当者までお問合せください。



▼もう10年くらい前ですが、近所の方がエンダイブを作っていて、いただいたことがあります。嫌みのないほろ苦さ、柔らかさ、シャキシャキ感にやみつきのなるほど気に入って食べていましたが、いつの間にか忘れていました。また買って食べます。

高梁市・川崎悦子さん(70代)

▼RSKテレビ「笑味ちゃん天気予報」でエンダイブの紹介を見て、どんな味なんだろうと近くの直売所で購入しました。レタスに似ているのでパンに挟んで食べました。次は先月号のレシピを参考にポタージュにも挑戦してみます！

備前市・中司芳江さん(70代)

▼先月号特集のレシピ、特に「レンコンまんじゅう」がおいしそうで、お正月に作ってみたいと思いました。

岡山市・秋山鈴さん(20代)

▼先月号特集のレンコンレシピぜひ作ってみます。私のレシピは簡単に、皮をむかずスライスして塩とオリーブオイルをかけてトースターで焼くだけ！花粉症にもいいというレンコンをいっぱい食べて地域に貢献しましょう。

勝央町・西元栄子さん(60代)

▼くらしき作陽大学の学生さんが農業の現場に向き、体験し、レシピを考案する姿に元気をもらいました。ありがとうございます！

倉敷市・くみこさん(50代)

▼若い学生さんが畑やハウスの中におられる姿に感動しています。くらしき作陽大学の学生さん、おつかれさま!!

矢掛町・江本京子さん(60代)

▼先月号「晴ればれトピックス」の「銀沫」アイスの取り組みに大いに期待しています。私も孫たちもアイス大好きなので食べて応援します!!

美咲町・延原喜美恵さん(60代)

▼先月号の「晴ればれトピックス」のびほく女性部コンニャクづくり。丸いのはお椀を使うのだ、と手で丸めていたのをなつかしく思い出しました。

総社市・金澤満知子さん(60代)

▼先月号の「晴ればれトピックス」のびほく女性部コンニャクづくりを見て、子どもの頃、実家でコンニャク芋を栽培し、父母が毎晩遅くまで井くりをしていたことを思い出しました。自分が親くらいの年になって、手づくりコンニャクが本当においしかったなと、しみじみ思います。

久米南町・嵯峨奈美子さん(50代)

▼果物はなんでも大好きですが、「パスクラサン」は食べたことがありませんでした。たまたまパン屋でパスクラサンジャムを見つけてさっそく購入し、ヨーグルトに加えて食べました。とてもおいしかったです。

備前市・播本ひろ子さん(70代)

▼12月号の「押し名物まつり」のレシピ、「甘酒のフレンチトースト」を作って食べてみたら、大変美味でした。

浅口市・野村隆志さん(40代)

▼毎年、「連島れんこん」をおいしく頂いています。出荷までの手間を考えながら、しっかりかみしめて食べています。ありがとうございます。

倉敷市・茂木捺恵さん(70代)

PRESENT QUIZ

パズルに答えて、
特産品をGetしよう!

ヨコのカギ

- 1 節分の日に丸かじりする地方もあります
- 2 歯がある履き物
- 3 世界遺産には文化遺産や——遺産があります
- 4 ほっそりした指の例えに使われる魚
- 5 酸っぱいものを見ると湧きます
- 7 特定のヤギの毛を使った高級な毛織物
- 10 受験生が勝ち取りたいもの
- 12 江戸幕府の旗本、御家人の総称
- 14 ——頭をたたいてみれば文明開化の音がする
- 16 酒のお供です
- 17 年齢を尋ねられたので——を読んで答えちゃった
- 19 愛を英語でいうと

正解者の中から抽選で

15人の方に

「スイートピー50本」
をプレゼント!!

タテのカギ

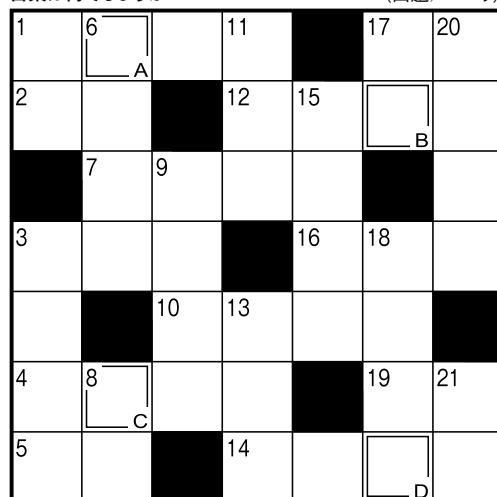
- 1 力士が頭のとっぺんに結います
- 3 ベッドルームともいいます
- 6 南へと吹き抜けていきます
- 8 父は口バ、母はウマ
- 9 青→黄→赤と変わるものをよく見掛けます
- 11 穴道湖の名産である二枚貝
- 13 水瓶座と牡羊座の間
- 15 訴えや申請などが退けられること
- 17 ——かまぼこ、——団子、——笛
- 18 鉄道のレールの下に並べます
- 20 テレビ——の録画を予約した
- 21 魚へんに師と書く出世魚



※イメージ

二重マスの文字をA~Dの順に並べてできる
言葉は何でしょうか?

(出題/ニコリ)



プレゼント商品はオンラインショップでも
買うことができます!!

◀◀◀Web サイトはコチラから



津山市 河井 康江さん



倉敷市 渡辺 芳美さん

▼先月号「押し名物まつり」のお餅アレンジレシピが参考になりました。料理コーナーが好きで、毎月必ずチェックしています。
鏡野町・池田亜加理さん(30代)

▼「なぎびー」を食べてみたいですよ。お肉大好きです。
倉敷市・横田 歩美さん(10代)

▼食べることが好きなのでレシピがいろいろ載っていてうれしいです。
奈義町・佐古 歩美さん(30代)



鏡野町 杉井 秀子さん



津山市 太田 博久さん

▼今年の冬は雪が多い予報。車の運転の自信のない私。あまり積もらせませんようにと願っています。(スキー場の方には申し訳ないのですが...)。
美作市・中島 純子さん(70代)

▼毎月、「家庭菜園」ページを切り取ってファイリングしています！すぐのためにあるので今後も続けてください。
新見市・田中 靖己さん(20代)

▼この歳になつてやっと野菜づくりをして生活をしようかと…。大好きなニンジンと白ネギを植えようと考えていたので、「家庭菜園」ページが参考になりました。ちょうどよかったです。デビューします！
美咲町・延本 知子さん(50代)

▼お正月に行つた新見の「絹掛の滝」で出会ったご夫婦。ご主人は米寿、奥様は86歳で二人ともカメラが趣味とのこと。車で中四国の風景を収めていると伺いました。ドライブ先での一期一会の出会い。若々しい、元気なパワーを頂きました。
倉敷市・浅野 美代子さん(70代)



ゴーヤの苗を主人が植えて育てたらクリスマスツリーのようにになりました！みなさんは何に見えますか？
備前市 重成 須磨子さん

みなさまからの「写真」「イラスト」「お便り」

「川柳」のご応募を **大募集** しています。

ご意見・ご感想もお待ちしております!!

Eメール・FAX
での応募もOK!!

応募方法

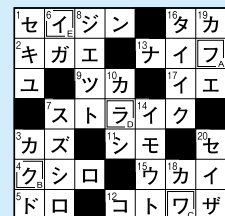
ハガキ・FAX・Eメールのいずれかに、必要事項をご記入いただき、ご応募ください。

〒713-8113
倉敷市玉島八島 1510-1

JA晴れの国岡山
総務企画課
「晴ればれ」係

Eメール：
hareoka_kouhou@hr.oy-ja.or.jp
FAX：086-476-1840

- 郵便番号・住所
- 氏名
- 電話番号
- 年齢
- パズルの答え
- よかったコーナー(複数回答可)
- その他ご意見・ご感想



クロスワードパズル
先月号の答え
「フクワライ」

応募総数
750件

※誌面の都合上、お便りのすべてを掲載できない場合がございますがご了承ください。
※みなさまからいただいた個人情報は、投稿コーナーへの掲載や当選賞品発送、JA事業運営以外では使用いたしません。
※投稿写真は、人物など被写体に関する肖像権などに触れる可能性のないものに限りです。
※記載氏名につきましては、ペンネームをご希望の方は、ご自身のペンネームを必ず明記してください。
※投稿いただいた作品は返却いたしません。
※当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。
※Eメールでの応募の場合もハガキ同様、必要事項を記載の上、件名に「晴ればれプレゼント応募」と入力し、送信してください。
※投稿いただいたハガキなどは、投稿いただいた時点で掲載可能承諾済とさせていただきます。

応募締切：2022年2月10日(木) 消印有効

あとがき

最近、星空観察に夢中です。冬は空気が澄んで、肉眼でもきれいに星を見ることが出来ます。1月下旬頃からは金星が明け方の空に見られ、2月13日に明るさがピークに達するそうです。
そして、翌日14日と言えばバレンタインデー！大切な人に花を贈るフラワーバレンタインがおすすです。ホームページで県内の花屋さんとのコラボ企画も紹介しています。日常の中に「ちょっと幸せ」を感じられる、星空や花のある暮らしを楽しんでみませんか。(荒木)





スイートピーフラワーアレンジメント

蝶のように羽ばたいて

今回は、倉敷市内の花屋さんに協力いただき、船穂町産スイートピーを使ったフラワーアレンジメントを紹介します。

[必要なもの]

- スイートピー……………70本
- 吸水フォーム……………1/6個(サイズ7.5×5.5×8cm)
- ヒペリカム……………3本(実20個)
- 花器……………(入れ口16×10cm、高さ18cm)
- 花ばさみ

[活け方]

1. 完成イメージに合う器を選ぶ。吸水フォームを水につけて器にセットする。
2. スイートピーの花丈を30cm程度に切る。

茎の先を水につけたまま、切り口が斜めになるように切る。斜めに切ることで、水を吸う面積が広くなり、水があがりやすくなる。

3. ヒペリカムの実を、5mm程度軸を残して茎から切り離す(20個)。
4. 吸水フォームに扇状になるようにスイートピーを挿していく。
5. 挿した部分が隠れるように、隙間を残った花で埋める。
6. 吸水フォームのサイドにヒペリカムを一行になるように挿す。最後に全体のバランスやすき間をチェック。

アレンジメントを 長持ちさせるポイント

- ・1日1回、吸水スポンジから水があふれない程度に水やりを。
- ・アレンジの上から霧吹きで保湿し、乾燥を防ぐ。
- ・エアコンや直接日差しが当たらない場所に置く。



制作 かだん
株式会社 花だん
倉敷市玉島1923-9
☎0120-70-8783

